

## 2. 操舵令

外航船の操舵令は、右転は「スターボード」、左転は「ポート」と号令します。これは船橋では入出港や狭水道では船長が号令し、通常の航海では当直航海士が号令し、この号令を受けて操舵手（コーターマスター）が操舵するのです。

この操舵令は現在行われているものですが、以前は反対の令だったのです。

昔、船が小型であった頃は、舵はチラー（舵の上部に取り付けられた棒、ヘルムとも呼ばれている）を左右に動かして操舵します。この場合「ポート」と言えば舵柄をポート（左）へ押ということで、当然舵板は右を向きますから船は右に回頭します。「スターボード」はその逆で舵柄は右に押され、舵板は左を向き船は左に回頭します。

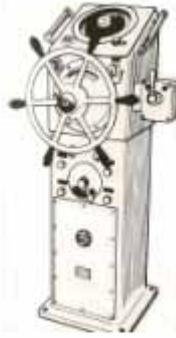
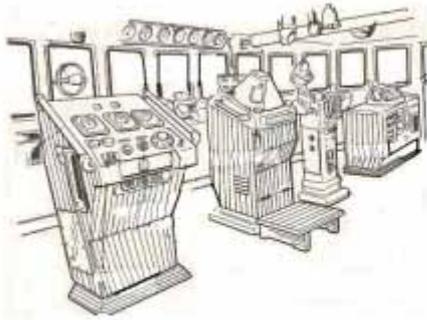
ところが船が大型化してくると、舵も遠隔操舵になり船橋にある舵輪（ホイール）で操作するようになると自動車のハンドルと同じ要領で回頭するので、従来のままの号令では逆の号令になってしまい、不慣れな操舵手は混乱したのです。しかし、この習慣は20世紀初頭まで続き、タイタニック号のような大型船が出現しても、まだ昔のチラー時代の間接法の習慣が残っていたのです。従って映画では冰山を目前にした航海士が「ハード・ア・スターボード」と号令し、操舵手が「ハード・ア・スターボード・サー」とアンサーバック（復唱）し船も左回頭していますから、現在行われている号令です。しかし、当時を再現すれば船は右回頭しなければなりません。現在使用されている号令になったのは第一次大戦の後（1918）の国際会議で操舵号令がチラーに対して行うものではなく、舵の動きそのもの動きに対して行うものと勧告案が採択され、例えば「スターボード 20 度」との号令は「船を右に回頭するために舵を 20° になるよう舵輪をその分だけ右に回す」ことを意味する直接法の号令になったのです。この時期は 1920 年代で、タイタニック号の遭難は 1912 年ですから号令は明らかに間接法の時代でした。この号令の違いを逆手にとって操舵手が反対に舵を取ったとするミステリー小説もありました。

我が国では国際会議の勧告もあって、1933 年（昭和 8 年）公布の船舶安全法施行規則に「操舵号令ハ船舶ノ前進中其ノ船首ヲ転ズル方向ヲ直接ニ示ス語ヲ使用スベシ」と規定され、昭和 29 年（1954）に海上衝突予防法第 32 条（操舵令）「操舵号令においては「面舵」又は「スターボード」とは舵を右舷に取れという意味に、「取り舵」又は「ポート」とは舵を左に取れという意味に用いるものとする」と規定されています。

我が国では古来より「取り舵」「面舵」という号令で、江戸時代より使われており、帝国海軍が踏襲し、現在でも海上自衛隊、海上保安庁、内航船、漁船と広く使用されています。

外航船は外国でパイロットが操船するので「ポート」「スターボード」を使用しております。

この「取り舵」「面舵」の由来を説明しますと、語源は十二支で和磁石と同じです。子丑寅卯竜未午未申酉戌亥を時計回りで書いてみて下さい。子は北、0 時。卯は東（右）6 時。午



〔昭和 40 年代頃の船橋（操舵室）〕

が南、12時。西（左）21時になります。（1刻は2時間）江戸時代は十二支をもって方位と時刻を表わしたのです。

磁石の針を船に例えてみましょう、船首は子（北）船尾は午（南）です。そうすると右舷が卯（右）左舷は酉（左）になります。こうして右舷を面舵、左舷を酉舵と言うようになり、右に転ずることを卯面舵から「オモカジ」（面舵）になり、左は酉舵「トリカジ」（取舵）の号令になり、現在でも使用されているわけです。

もう一つ「ヨーソロー」（宣候）という号令がありますが、これは舵面を船首尾線に一致させ直進することを「ヨーソロー」は「良く揃う」が聞き取りやすいようにやや抑揚をつけてゆっくり言うようになったといわれています。舵そのまま直進（ステディー）です。

船の習慣としてもう一ついいますと、船位をだすのは現在はGPSで簡単に求められますが、私たちが現役だった頃は、もっぱら天測によるものです。一番正確に船位が求められるのは正午位置です。太陽が正中する、つまり一番高くなるのが正中で、これが現地での12時で午の刻ですから「正午」となります。この正午の太陽の角度を測れば正確な緯度が計算できます。そして正午の時間とグリニッチ時間（経度0°）との差を求めれば正確な経度が算出できますから船位は正確です。ですから日本船は全て正午位置を測定して会社に報告する習慣があり、第二次大戦中も輸送船は必ず正午位置を無線で報告するように海軍司令部よりきつく命令されておりました。勿論暗号ですが、アメリカ海軍はこれらを解読し、潜水艦が先回りしてねらい撃ちをしていたのですが、日本海軍が終戦まで暗号が解読されているのに気付かなかった、ソフトの面でも我が国は大分劣っていたようです。

